

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 15災害復旧費

項 1公共土木施設災害復旧費 目 1河川災害復旧費

事務事業番号 15010101

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
平成28年8月台風災害に係る河川復旧事業【繰越明許】		30,413 千円	11,742 千円	17,000 千円	千円	1,671 千円
都市建設部道路河川課						
根拠法令	公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	平成28年8月に発生した台風10号により被災した小泉の沢川の護岸復旧を行い、施設の機能回復を図ります。					
事業の必要性	被災した護岸を早急に復旧することにより、安心・安全な市民生活を確保します。					
事業の内容	1. 災害復旧工事 ・平成28年8月に発生した台風10号により護岸が被災したため、隣接する民家の崩壊を誘発する可能性があり、早急に護岸の復旧をいたします。 被災状況  復旧後 					
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	30,413 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
人件費	4,143 千円		担当正規職員	4,143 千円	0.6	人
総 計	34,556 千円		嘱託職員	千円		人
			再任用(フル)	千円		人
			再任用(ハーフ)	千円		人
			臨時職員	千円		人
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H29年度	H28年度	H27年度
	河川災害復旧箇所		箇所	1		
成果目標	被災した護岸を早期に復旧させることで、安心・安全な市民生活を確保します。					
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	平成28年8月に発生した台風10号により被災した護岸を早期に復旧しました。					
事業の課題、今後の方向性等	河川パトロールをはじめ、定期的な点検など、維持管理の充実を図る必要があります。					
特記事項						